

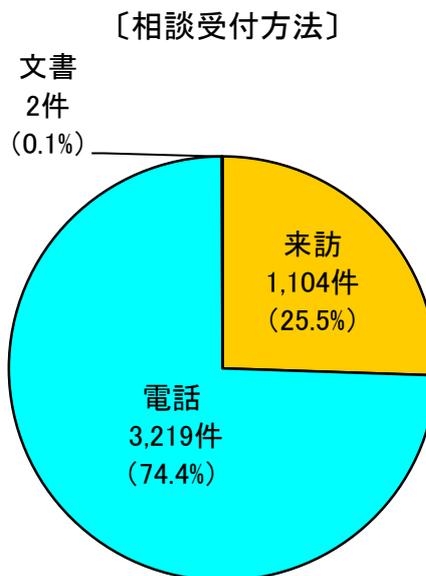
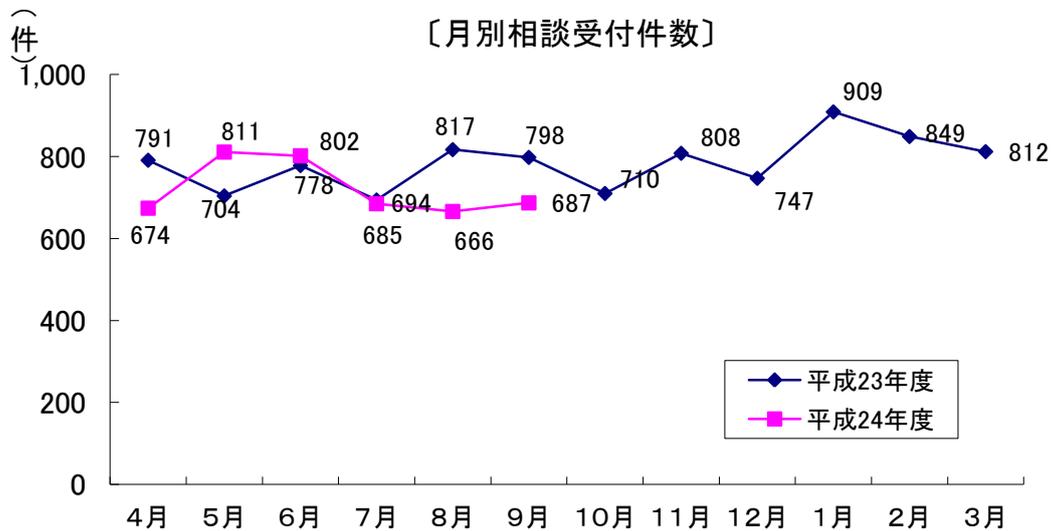
平成24年4－9月青森県内の消費生活相談状況

1. 平成24年4月－9月の状況

(1) 相談受付状況

県内の消費生活相談窓口で受付した件数は、苦情相談 3,544 件、問合わせ 781 件、合計 4,325 件であり、前年同期に比べ 257 件 (▲5.6%) 減少しました。(単位：件)

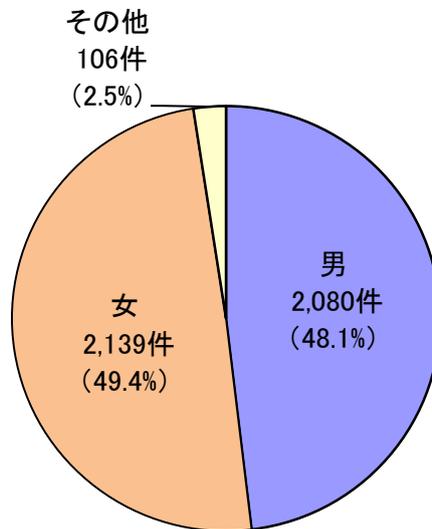
相談種別	年度 平成24年度 4－9月	平成23年度 4－9月	増減	(参考) 平成23年度
苦情相談	3,544	3,655	▲111 (▲3.0%)	7,594
問合わせ	781	927	▲146 (▲15.7%)	1,823
計	4,325	4,582	▲257 (▲5.6%)	9,417



(2) 契約当事者の状況

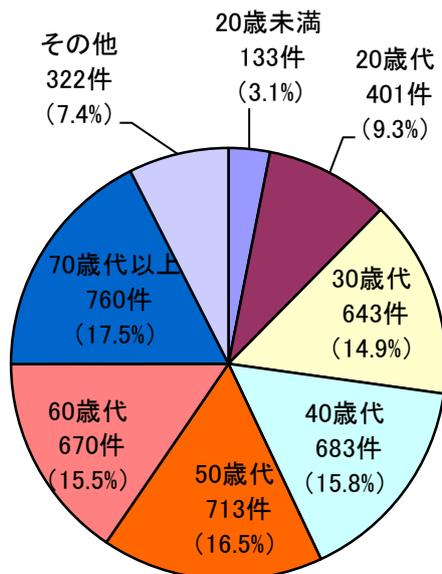
契約当事者の性別では、男性が2,080件、女性が2,139件となっています。

〔契約当事者の性別〕

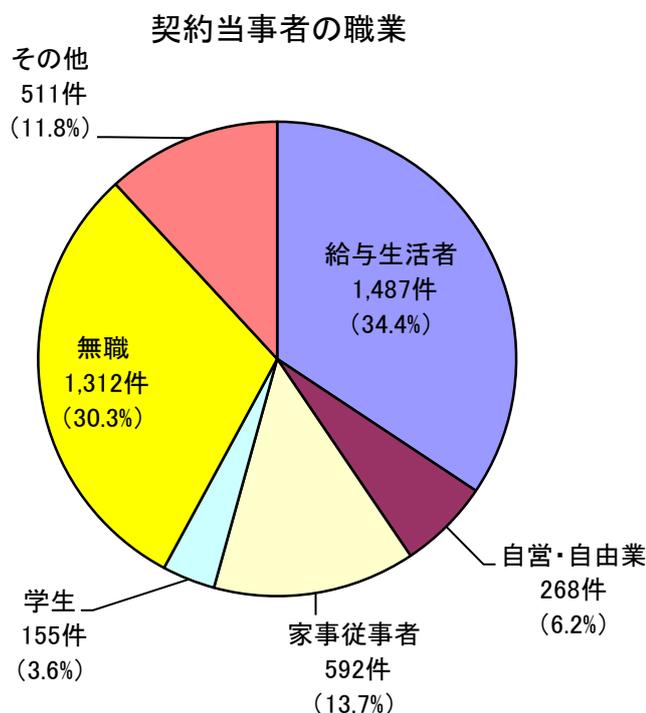


契約当事者の年代別では、70歳代以上が760件と最も多く、次いで50歳代713件、40歳代683件となっています。

〔契約当事者の年代〕



契約当事者の職業別では、給与生活者が1,487件で最も多く全体の34.4%を占めています。次いで無職が1,312件（30.3%）となっています。



(3) 商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	平成 24 年度 4 - 9 月	平成 23 年度 4 - 9 月	増 減	(参 考) 平成 23 年度
1 運輸・通信サービス	953	967	▲14 (▲1.4%)	1,974
2 金融・保険サービス	858	991	▲133 (▲13.4%)	2,022
3 教 養 娛 楽 品	253	276	▲23 (▲8.3%)	532
4 レンタル・リース・貸借	236	229	7 (3.1%)	456
5 食 料 品	226	183	43 (23.5%)	397
そ の 他	1,799	1,936	▲137 (▲7.1%)	4,036
計	4,325	4,582	▲257 (▲5.6%)	9,417

「運輸・通信サービス」953件は、前年同期967件と比較すると14件（▲1.4%）の減少となりました。最も多かった相談は、アダルト情報サイトや出会い系サイトなどの放送・コンテンツ等に関する相談746件で前年同期802件と比較すると56件（▲7.0%）の減少となっています。

「金融・保険サービス」858件は、前年同期991件と比較すると133件（▲13.4%）の減少となりました。最も多かった相談は、融資サービスの相談585件（68.2%）となっています。

「教養娯楽品」253件は、前年同期276件と比較すると23件（▲8.3%）の減少となりました。最も多かった相談は、仏像やペット動物などの他の教養娯楽品に関する相談61件で前年同期45件と比較すると16件（35.6%）の増加となっています。

「レンタル・リース・貸借」236件は、前年同期229件と比較すると7件（3.1%）の増加となりました。

「食料品」226件は、前年同期183件と比較すると43件（23.5%）の増加となりました。最も多かった相談は健康食品に関する相談87件で、前年同期54件と比較すると33件（61.1%）の増加となりました。

2. 平成24年4月－9月の特徴

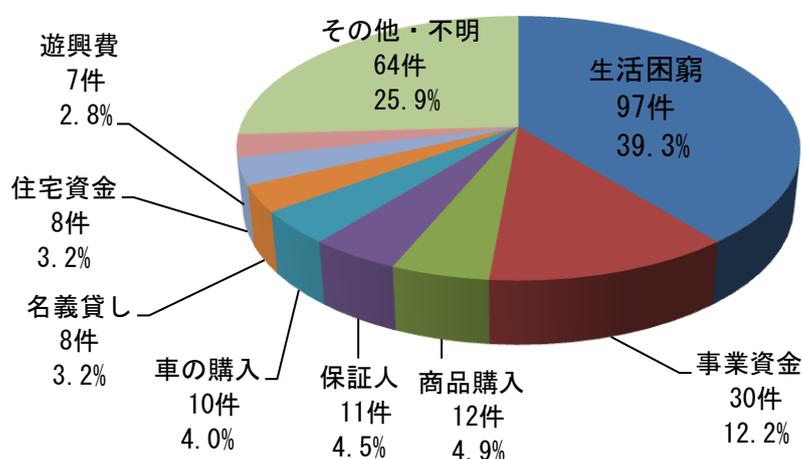
（1）多重債務に関する相談が減少

（単位：件）

年度	平成24年度 （4－9月）	平成23年度 （4－9月）	増減	（参考） 平成23年度
多重債務	247	356	▲109（▲30.6%）	676
融資保証金詐欺	4	1	3（300.0%）	3
借金整理屋	2	3	▲1（▲33.3%）	5
ヤミ金	36	40	▲4（▲10.0%）	81
ショッピング枠 現金化	2	8	▲6（▲75.0%）	11

多重債務に関する相談247件は、前年同期356件に比較すると109件（▲30.6%）の減少となりました。借金整理屋、ヤミ金、ショッピング枠現金化に関する相談件は減少していますが、融資保証金詐欺に関する相談が4件と前年同期より3件の増加となっています。

〔多重債務相談247件の借金のきっかけ〕



(2) 振り込み詐欺に関する相談が増加

架空請求 167 件は、前年同期に比較すると 84 件 (101.2%) の増加となりました。請求の手口として、携帯やパソコンのメールによるものが 131 件、ハガキ等によるものが 36 件となっています。(単位:件)

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
H24 年度(4-9)	0	167	4	6	177
H23 年度(4-9)	0	83	1	1	85
増 減	—	84 (101.2%)	3 (300.0%)	5 (500.0%)	92 (108.2%)

(3) 65 歳以上の高齢者の相談が増加

①商品・役務別の相談件数

契約当事者が 65 歳以上の相談 1,004 件は、前年同期 862 件と比較すると 142 件 (16.5%) の増加となりました。健康食品や魚介類などの食料品に関する相談のほか、劇場型の詐欺的な商法の取引対象として扱われる、教養娯楽品や金融保険サービスに関する相談の増加が大きくなっています。(単位:件)

商品役務名		年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	増 減	(参 考)
			4 - 9 月	4 - 9 月		平成 23 年度
1	金融・保険サービス		224	201	23 (11.4%)	471
2	食 料 品		105	74	31 (41.9%)	170
3	商 品 一 般		79	66	13 (19.7%)	122
4	教 養 娯 楽 品		78	49	29 (59.2%)	125
5	運輸・通信サービス		61	38	23 (60.5%)	89
	そ の 他		457	434	23 (5.3%)	1,052
	計		1,004	862	142 (16.5%)	2,029

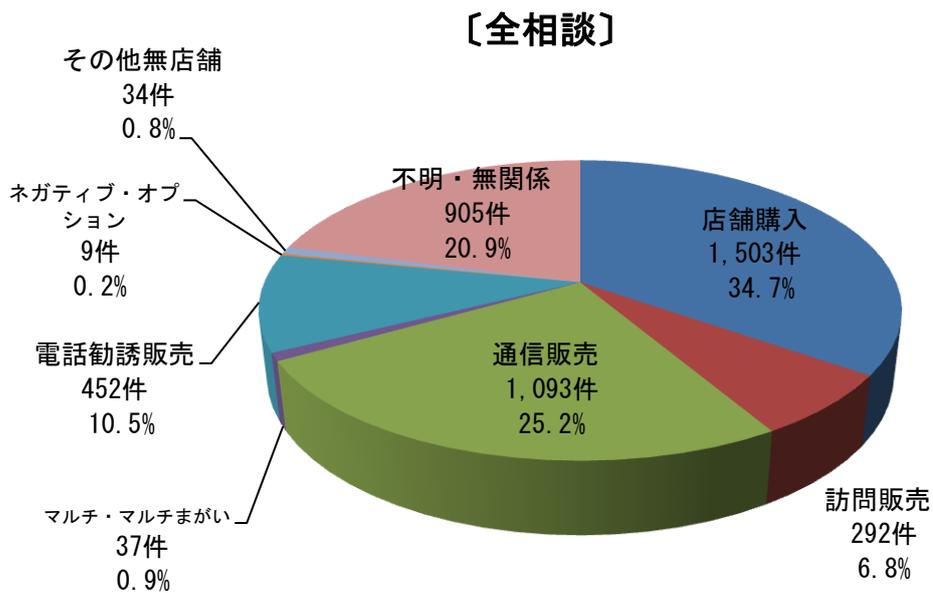
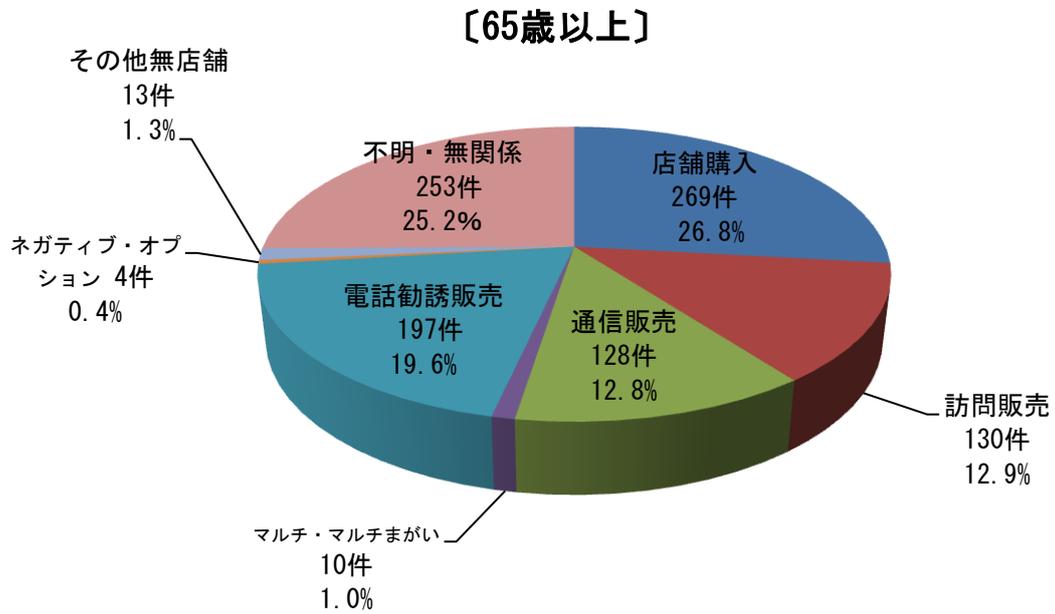
②契約購入金額及び既払金額が急増

契約購入金額合計、平均契約購入金額、既払金額合計、平均既払金額いずれも増加しています。お金を支払ってしまったものを、商品・役務別でみると、金融・保険サービス、教養娯楽品、食料品、住居品、他の役務などとなっています。特に、金融・保険サービスの既払金額は 210,320 千円で、全体の 54.6% を占めており、平均既払金額も 7,511 千円と突出しています。(単位:千円)

区 分	年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	増 減
		4 - 9 月	4 - 9 月	
契約購入金額合計		716,450	525,340	191,110 (36.4%)
平均契約購入金額		1,996	1,578	418 (26.5%)
既払金額合計		385,396	164,266	221,130 (134.6%)
平均既払金額		1,124	537	587 (109.3%)

③販売購入形態

高齢者の契約方法を販売購入形態で見ると、訪問販売や電話勧誘販売の契約の割合が高くなっています。



④訪問販売及び電話勧誘販売における商品・役務別相談受付状況

ア) 訪問販売

	65歳以上			すべての相談	
	商品・役務名	相談受付件数		商品・役務名	相談受付件数
1	商品一般	22	1	運輸・通信サービス	38
2	住居品	18	2	工事・建築・加工	34
3	保健衛生品	13	3	他の役務	28
	工事・建築・加工	13	4	商品一般	26
5	他の役務	11	5	住居品	25
	その他	53		その他	141
合計		130	合計		292

○65歳以上の商品一般 22 件のうち、19 件は架空請求に関する相談

○住居品は布団類・台所用品など

○保険衛生品は配置薬・家庭用電気治療器具など

○工事・建築・加工は塗装工事・外壁工事など

○他の役務は冠婚葬祭互助会・祈とうサービスなど

イ) 電話勧誘販売

	65歳以上			すべての相談	
	商品・役務名	相談受付件数		商品・役務名	相談受付件数
1	食料品	68	1	金融・保険サービス	109
2	金融・保険サービス	56	2	食料品	102
3	教養娯楽品	23	3	運輸・通信サービス	89
4	商品一般	13	4	教養娯楽品	38
5	運輸・通信サービス	12	5	他の役務	34
	その他	25		その他	80
合計		197	合計		452

○食料品は健康食品、魚介類、飲料など

○金融・保険サービスはファンド型投資商品や株の劇場型の投資詐欺やなど

○教養娯楽品は仏具・神具の劇場型の詐欺や皇室関連の書籍など

○商品一般は一方的にパンフレットを送りつけるものなど

○運輸通信サービスはインターネット接続回線契約など